

## 館長だより 3月号(2024/3)

令和6年の幕開けは、元旦に発生し、大変な被害を与えた能登半島地震でした。遅ればせながら被災された方々に対し、心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を祈念申し上げます。

ところで1月、2月の温かさに対し、3月に入ってからの寒さは、体調管理の難しさを感じさせる今日この頃ですが、皆様はお変わりないでしょうか？

紀伊風土記の丘では、桜のつぼみが膨らみ始めており、春の訪れを告げているかのようです。

冬の企画展示「紀伊半島の東と西—縄文・弥生時代の地域性—」は、2月25日(日)で終了しました。多数のご来館ありがとうございました。

さて、3月16日(土)からは、春の企画展示「黒江・商家のくらしと漆器」が始まります。会期は6月16日(日)までの予定となります。

黒牛瀨に面する海南市黒江は、江戸時代の初期から職人や商人が集まり、紀州藩の保護を得て<sup>しほじわん おしき</sup>渋地椀や折敷などの漆器を盛んに製造しました。

黒江塗は、庶民が日常生活で手軽に使える器を大量に生産したことを特色としました。そのため、黒江では一つの町の中でさまざまな職人が漆器づくりの工程を分業しました。また、漆器問屋など商人が海を通じて江戸や上方、四国、九州などに広範囲に販路を開拓し、さらに明治時代以降には、海外向けの輸出漆器やライフスタイルの変化に応じた漆器を創造しました。

紀伊風土記の丘には、重要文化財「旧柳川家住宅」が黒江から移築保存され、伝統的な漆器問屋の佇まいを伝えるとともに、柳川家で取り扱った商品としての漆器や、同家で実際に使用された生活用具が伝わり、商家のくらしぶりを垣間見ることができます。

本展覧会では、「つくる」・「あきなう」・「くらす」をテーマに、黒江の町で行われる漆器づくりの道具と製品、商家の生活用具を通じて、江戸期から昭和期にかけての黒江における仕事、商い、くらしの変遷をご紹介します。

展示構成およびおもな展示物は、以下の通りです。

### 【プロローグ】

[漆器のまち・黒江]

・紀州雛	平成時代	館蔵
------	------	----

### 【第1章】「つくる」—黒江の漆器づくり—

[木地作り]

・椀木地	昭和時代	海南市立黒江小学校蔵
・挽物刃物	昭和時代	海南市立黒江小学校蔵
・チョウナ	昭和時代	海南市立黒江小学校蔵

・ 椀木地籠	昭和時代	館蔵
・ 木地高坏	昭和時代	館蔵
・ 木地椀（工程ごとの見本）	平成 13 年（2001）	館蔵
・ 仲間議定帳	文久 4 年（1864）	海南市立黒江小学校蔵
[うるしの精製]		
・ うるし屋看板	江戸～近代	海南市立黒江小学校蔵
・ くろめ鉢	昭和時代	海南市立黒江小学校蔵
・ 混ぜ櫛、柄杓	昭和時代	海南市立黒江小学校蔵
・ 漆桶	昭和時代	海南市立黒江小学校蔵
[塗りの工程]		
・ こね鉢、混ぜ棒	昭和時代	館蔵
・ 塗師屋机	昭和時代	館蔵
・ 塗師屋包丁	昭和時代	館蔵
・ へら、刷毛	昭和時代	館蔵
・ 塗椀（工程ごとの見本）	昭和～平成	館蔵
・ 乾燥台	昭和時代	館蔵
・ 塗り椀つかみ	昭和時代	紀州漆器協同組合蔵
・ 加飾道具箱	昭和時代	紀州漆器協同組合蔵
・ 加飾図案帳	大正 8 年（1919）	紀州漆器協同組合蔵
・ 紀伊名所図会 五之巻	江戸時代	海南市立黒江小学校蔵

【第 2 章】「あきなう」—黒江漆器の製品と流通—

[代表的な漆器製品]

・ 八十椀	明治時代	館蔵
・ 菓子椀	明治時代	館蔵
・ 折敷	明治時代	館蔵
・ 木具膳	明治時代	館蔵
・ 塗り盆	明治時代	館蔵
・ 八十椀	明治時代	館蔵
・ 菓子椀	明治時代	館蔵
・ 折敷	明治時代	館蔵
・ 木具膳	明治時代	館蔵
・ 塗り盆	明治時代	館蔵

[漆器の流通]

・ 帳場机	明治時代	海南市立黒江小学校蔵
・ 帳場格子（結界）	明治時代	海南市立黒江小学校蔵
・ 算盤	江戸時代	館蔵

・ 銭箱	江戸時代	館蔵
・ 両替天秤	江戸時代	館蔵
・ 荷物積出帳、雇賃銭控帳	明治 30 年 (1897)	紀州漆器協同組合蔵
[昭和の漆器]		
・ 丸盆 (プラスチック)	昭和 40 年代	館蔵
・ 丸盆 (プラスチック)	昭和 40 年代	紀州漆器協同組合蔵
・ 丸盆 (海外輸出品)	昭和 40 年代	紀州漆器協同組合蔵
・ スリートレイセット	昭和 40 年代	紀州漆器協同組合蔵
・ 茶櫃	昭和時代	紀州漆器協同組合蔵
・ ポット台	昭和時代	紀州漆器協同組合蔵

### 【第 3 章】「くらす」—黒江のくらしの道具—

#### [商家のくらし]

・ 金柑絵銘々盆	天明 8 年 (1788)	館蔵
・ 松竹梅蒔絵重箱	明治時代	館蔵
・ 栄重 (春慶七ツ入子重)	安政 5 年 (1858)	館蔵
・ 伊万里焼膾皿	江戸時代	館蔵
・ 丸行燈	江戸時代	館蔵
・ 鉄漿箱	江戸時代	館蔵

#### [商家のたのしみ]

・ 雑煮椀	明治時代	館蔵
・ らんびき (蒸留器)	明治 23 年 (1890)	館蔵
・ 茶道具 一式 (茶碗、茶釜、蓋置、棗、菓子皿 等)	明治～昭和	館蔵
・ 貼り交ぜ屏風	明治時代	館蔵

### 【エピローグ】

[黒江の町のうつろ・金柑絵銘々盆]	天明 8 年 (1788)	館
・ 桐下駄、塗り下駄	昭和時代	海南市立黒江小学校蔵
・ 写真パネル (町かど、下駄市、漆器まつり)		
・ 写真パネル (旧柳川家住宅)		

### 関連行事

展示講座① (春期企画展)「黒江・くらしと漆器」

日 時 令和 6 年 4 月 1 4 日 (日) 13 : 30 ~ 15 : 30

会 場 和歌山県立紀伊風土記の丘 研修室

対 象 小学生以上

定 員 30 名

参加費 資料代 100 円（別途入館料が必要です）

申 込 電話による受付（073-471-6123）

受付開始 令和6年3月29日（金）13:00～

#### 入館料

一般 190 円（150 円）／大学生 90 円（70 円）※（ ）内は 20 名以上の団体料金

※65 歳以上・高校生以下・県内在学の留学生・障害者の方は無料（要証明）

#### 休館日

毎週月曜日 ※月曜日が祝休日の場合は次の平日

ぜひこの機会に風土記の丘を訪問いただき、春のひと時を博物館で有意義な時間を過ごされませんか？お待ちしております。